

全ては招請することから始まる

私たちは皆、さまざまな道歩んでロータリーの一員となりました。父親がロータリアンだったから入会した人もいます。例会に出席するようにと雇用主に頼まれて入会した人もいます。アメリカ最高裁判所が下した性別理由による入会拒否は違法という判決によって入会できるようになったから入会した人もいます。それでも、全員に共通する入会理由が一つあります。招請されたから、です。

私たちの想像力を解き放ち、あらゆる可能性を広げてくれる招待状。私たち一人一人が、誰かを招請することができるのです。

地域社会全体を見渡し、将来のリーダーを見つけるのだと想像すると、感動を覚えずにはいられません。人は、自分と同じような人を誘おうと思ってしまいがちです。なぜなら一見、共通点などまるでないように見える人が私たちと価値観を共有していて、同じように才能を発揮することができるのだと気付くには特別な才覚が必要ですから。

しかし、ロータリーは組織全体の「多様性、公平さ、インクルージョン（D E I）」を推進するために、今こそ次の一步を踏み出すべきです。

皆が自分もロータリーの一員であると感じられるような体験を大切にするのは、単に会員層を多様化すればよいという話ではありません。例会やイベントを、本音で話し合えるオープンな場に、会員たちが「自分は歓迎されている」と感じられて、居心地のよい場所にしなければなりません。そのためは、入会の障壁を取り除き、インクルージョンのために扉を開かなくてはなりません。私たちの価値観は今後もロータリーの強みであり続けます。加えて、卓越性が求められるロータリーでは、会員の高い基準を維持する必要があります。

私たち全員がロータリー全体でD E Iを推進することを心に誓っていると私は信じています。このことはロータリーの最も深い伝統に根差しており、これから数十年にわたって、ロータリーが活気にあふれた重要な団体であり続ける未来を保証してくれるものです。

数年前、国際ロータリー理事会は2023年までに女性会員の割合を30%にするという意欲的な目標を設定しました。もうあと1年を切りましたが、この目標を達成し、超えることができると私は信じています。

ロータリーはあらゆる大陸、文化、信条から指導者を擁立するべきです。若い世代や考え方が若い人に、これまで以上に大きな役割と責任を担ってもらうべきです。そして、長年活動してきた会員と同等に、新会員の声にも熱心に耳を傾け、敬意を払うべきです。

ヒューストン国際大会では、アポロ16号の宇宙飛行士から宇宙探査の話をお聞きしました。1960年代にアメリカ合衆国のケネディ大統領が「実現が容易だからではなく、困難なことだからこそ、月面探査も挑むのだ」と宣言し、夢を見ようと世界に呼びかけたことに思いをはせました。

ロータリーがD E Iに全面的にコミットし、意欲的な会員目標を達成することは、当時の月面着陸ほど難しいことだと思われるかもしれませんが。しかし、行動人が大きな目標に取り組むとき、全力で目標を実行することを私は知っているのです。

ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー（R I）会長